

## 配置図



●隣接するインキュベーション施設、社会連携研究センターは三重大学における産学官連携の中心施設である。

# 地域イノベーション 研究開発拠点

地域イノベーション学研究科

社会連携研究センター

生命科学研究支援センター

## 施設整備概要

- 工期：平成24年10月～平成25年12月
- 棟造・階：鉄筋コンクリート造 地上5階建て（一部3階建て）
- 建築面積：1,166㎡
- 延べ面積：4,765㎡
- 環境対策：間伐材の使用、Low-E複層ガラス、断熱材吹付、LED照明、節水型便器、調湿型空調機
- BCP対策：大学基幹ネットワークサーバーを5階へ移設及び非常用電源(100kVA)を整備

※BCP…事業持続計画



間伐材の使用（玄関ホール）



5階	設備室	地域イノベーション学研究科							
4階		地域イノベーション学研究科							
3階		共有スペース		共有スペース		生命科学研究支援センター	社会連携研究センター		3階
2階		生命科学研究支援センター		生命科学研究支援センター		生命科学研究支援センター	社会連携研究センター		2階
1階	設備室	地域イノベーション学研究科	社会連携研究センター	社会連携研究センター		生命科学研究支援センター	社会連携研究センター		1階

R 5

地域イノベーション研究開発拠点施設

R 3

既存：社会連携研究センター

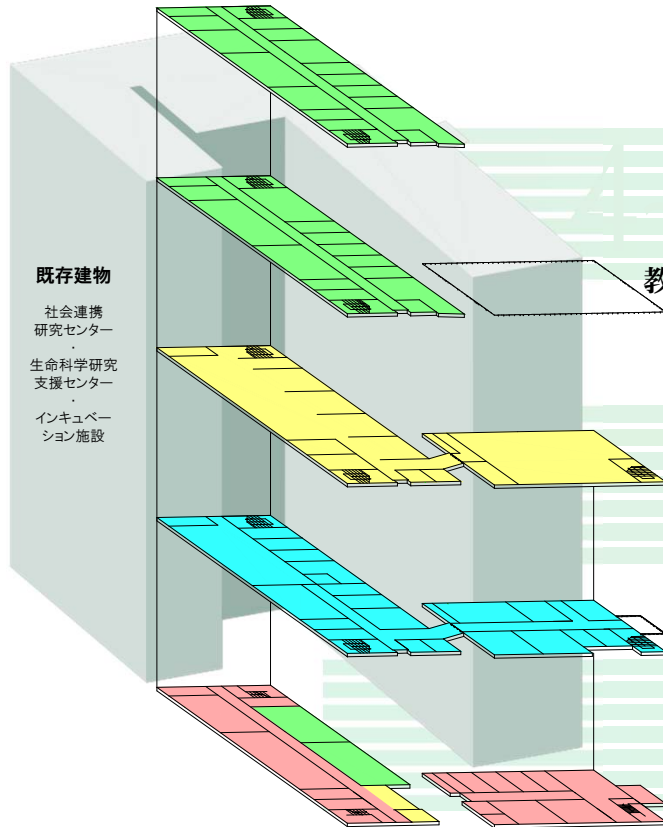
地域に根差したイノベーションの種子を生み出す

# 新事業開拓に貢献する 高度人材の育成・新技術開発

地域イノベーション学研究科の教育力、  
社会連携研究センターと生命科学研究支援センターの研究力を結集し、  
大学の「力」、地域の「力」、企業の「力」をつなぐことにより、  
三重地域圏の発展を担う「人財」と地域の「イノベーション」を生み出す。



**地域イノベーション・コアラボ**  
地域イノベーション学研究科学生の教育・研究と  
地域企業の研究開発を支えるコアラボ



既存建物

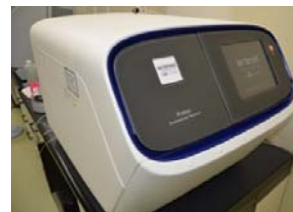
社会連携  
研究センター  
・  
生命科学研究  
支援センター  
・  
インキュー  
ション施設

教育フロア

交流フロア

研究フロア

- : 地域イノベーション学研究科
- : 社会連携研究センター
- : 生命科学研究支援センター
- : 共用スペース



次世代シーケンサー



質量分析計



**ラーニングcommons**  
地域イノベーション学研究科学生の  
アクティブ・ラーニングの場

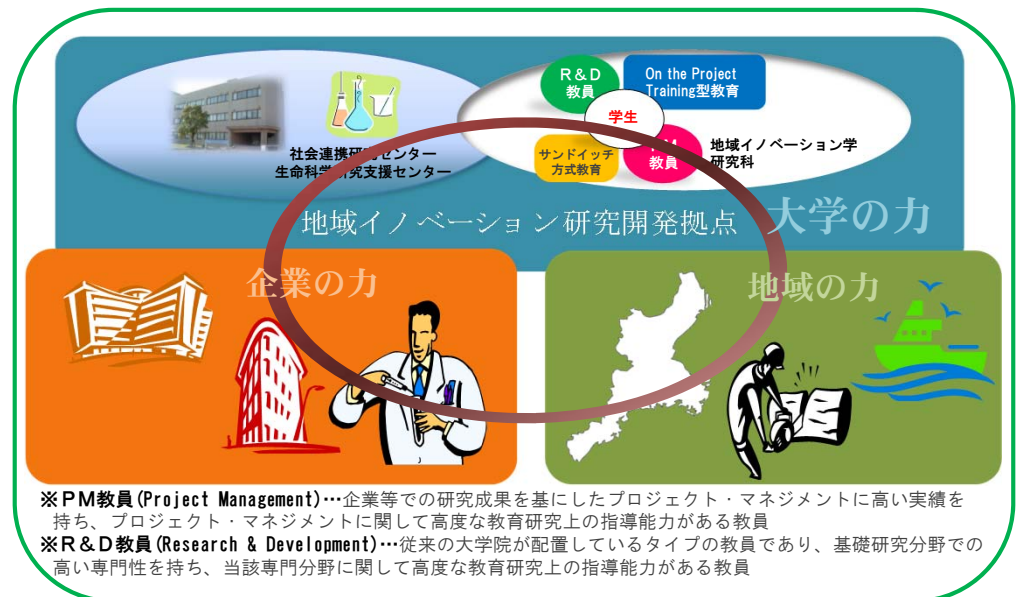


**交流ホール**  
各種シンポジウム、セミナー、ポスター  
セッション等による地域と大学との  
情報交換・交流の場



### 最先端機器の集中配置

最先端機器を備えた実験室を用いて  
学内・地域の研究開発を強力に支援



※PM教員(Project Management)…企業等での研究成果を基にしたプロジェクト・マネジメントに高い実績を  
持ち、プロジェクト・マネジメントに関して高度な教育研究上の指導能力がある教員  
※R&D教員(Research & Development)…従来の大学院が配置しているタイプの教員であり、基礎研究分野での  
高い専門性を持ち、当該専門分野に関して高度な教育研究上の指導能力がある教員



### 地域イノベーション学研究科

地域イノベーション学研究科では、「プロジェクト・マネジメントが出来る研究開発系人材」を育成するための教育と研究を行っています。地域イノベーション研究開発拠点が完成したことにより、本研究科の教育力と研究力は飛躍的に高まります。さらに、地域企業や研究機関の皆様にご利用頂ける地域イノベーション・コアラボも整備されました。本拠点における研究科の活動を通して、ますます地域の皆様に貢献して参りたいと考えております。

地域イノベーション学研究科長 小林一成



### 社会連携研究センター

地域の課題解決に取り組む大学院地域イノベーション学研究科とともに、三重大学の研究成果を広く社会に還元し、産官学連携を積極的に推し進める組織である社会連携研究センターが、新たに完成した同じ建物のなかでこれらとともに活動できることをうれしく思います。あわせて、この建物を共同利用する生命科学研究支援センターとともに、当センターでの様々な研究活動を通して三重大学のミッションをさらに推進していきたいと思っております。

社会連携研究センター長 吉岡基



### 生命科学研究支援センター

生命科学研究支援センターでは、三重大学の研究機能と社会連携機能のさらなる向上を目指し、研究面から地域の活性化に貢献することを重要な使命のひとつと考えています。このたび新たに形成された地域イノベーション研究開発拠点は、当センターとも密接に連携しながら、文字通り地域イノベーションの促進に大きな役割を果たしていくものと期待されます。

生命科学研究支援センター長 野阪哲哉